

各校の主な情報（高鷲中学校区）

資料3-①

学校名	羽曳野市立高鷲中学校
創立年月日	昭和22年4月1日
R6で何周年	78周年
現在児童生徒数	305名
創立当時の児童生徒数	175名
学校の主な取り組み (学校での地域行事も含む)	大阪府スクールエンバウメント推進事業「スマートスクール実現モデル校」として、本校では、SE担当者を中心に「チーム高鷲」として職員一丸となって、子どもたちの情報活用能力の向上をめざした、魅力ある授業づくりに励んでいます。研究主題を「情報活用能力を生かした総合的な学習の展開～各教科の授業と総合的な学習を情報活用能力の視点からつなぐ～」と設定し、全てのカリキュラムの中で、「情報活用能力の育成」を図るための組織的な体制も整備してきました。モデル校としてICT環境があるからこそできる学び方について研究を進めています。そして、地域・保護者に対してICT活用の意義についても周知しています。 地域行事としては、高鷲っ子フェスタを行っている。
校区の特徴	高鷲中学校区は近鉄南大阪線高鷲駅北部に位置し、松原市、藤井寺市と隣接する地域である。校区内小学校、こども園は高鷲北小学校、高鷲小学校、高鷲未来館がある。雄略天皇陵古墳や重要文化財である吉村家住宅をはじめとした、歴史的な建造物が現存している。また、大和川、東除川に囲まれた平地であることから、田畑も多い。一方で新しい住宅が開発される場所も点在しており、歴史ある街並みと新興住宅地が混在する穏やかな地域である。

学校名	羽曳野市立高鷲小学校
創立年月日	明治6年6月18日
R6で何周年	151周年
現在児童生徒数	305名
創立当時の児童生徒数	不明 火災にて喪失
学校の主な取り組み (学校での地域行事も含む)	高フェス：3年から6年までの各クラスで出し物を作成し、教室や体育館で楽しんでもらう学校行事。子ども未来館たかわしの園児にも来てもらい楽しんでもらう。 高小ふれあいフェスティバル：校区育成協、福祉委員会共催で地域交流の場として開催。一昨年と昨年の2回開催され、今後続いていく方向。
校区の特徴	校区の中央を南北に東除川が流れており、校舎からその流れを見ることができる。 シンボルの木、栴檀（せんだん）の木がある。火事で焼失したが、校庭の隅に現在も立派な姿を見せている。 駅もあり、商店街もあり、古いものと新しいものが融合されている地域。 地域の方々が、高鷲小のことや児童のことを気にかけて下さる。多くの方が学校に関わって下さり地域の協力を得られる。

学校名	高鷲北小学校
創立年月日	昭和55年4月1日
R6で何周年	44周年
現在児童生徒数	265名
創立当時の児童生徒数	326名
学校の主な取り組み (学校での地域行事も含む)	コロナで行えなかった全校音楽会を今年度から復活させる。児童朝会でも毎回歌を歌うことになった。食育についても全学年で取り組んでいる。一昨年度は給食コンテストで3部門で受賞、昨年度は2部門で受賞した。ICTの活用についてもコロナ以降研究を進め、授業での活用が進んでいる。ドリルパークの活用も90%を超える過が3学期多くみられた。
校区の特徴	長尾街道と東除川が交わる場所であり古くから交通の要衝である。民家として初めて重要文化財に指定された吉村家住宅、倭の五王として知られる雄略天皇陵など史跡が数多く残っている。 校区にほぼ信号がないうえ、陵南の森や島泉まちかどあそび広場（島泉幼稚園跡地）など子育てしやすい恵まれた環境となっている。

各校の主な情報（高鷲南中学校区）

資料3-②

学校名	羽曳野市立高鷲南中学校
創立年月日	昭和52年4月1日
R6で何周年	48周年
現在児童生徒数	408名
創立当時の児童生徒数	544名（1, 2年のみ）
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・「だれもかれもが互いに認め合いっぱいのびのびと生活できる学校にしよう」をスローガンに人権尊重と自主性を大切にした学年、学級集団づくりの取り組み ・「早寝早起き朝ごはん」運動など基本的な生活習慣の確立に向けた取り組み
校区の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・高鷲南小、恵我之荘小と高鷲小校区の一部が通学区域。校区に児童養護施設高鷲学園が所在する。 ・「素直で思いやりのある心と、のびのびとすこやかな体で、自ら行動できる子ども」を校区のめざす子ども像として幼小中の連携を図っている。

学校名	羽曳野市立高鷲南小学校
創立年月日	昭和46年4月8日
R6で何周年	54周年
現在児童生徒数	481名
創立当時の児童生徒数	569名
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の読書（毎日、始業前） ○あいさつ運動（毎週火曜日・学級ごと） ○ビジョントレーニング（学期ごとに期間実施） ○ハイブリッド学習 ○PTA親子まつり（PTA主催行事） ○ふれあい運動会（育成協主催行事）
校区の特徴	開校当時は、田園に囲まれ大変のどかで静かな環境でした。その後、大阪のベッドタウンとして、新興の住宅やマンションが建ち始め、徐々に児童数も増加し、多いときで600名を超えることもありました。現在も新しい住宅の開発がみられます。

学校名	羽曳野市立恵我之荘小学校
創立年月日	昭和48年4月1日
R6で何周年	52周年
現在児童生徒数	340名
創立当時の児童生徒数	860名
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年より、確かな学び（TM）加配と不登校支援事業を受けて、学力向上と不登校支援に取り組んでいる。 ・校区福祉委員会主催の「もちつき大会」や、「たかし子どもまつり」など地域と学校が協力し実施している。
校区の特徴	近鉄南大阪線恵我ノ荘駅南側、南恵我之荘番地全域が校区・校区の児童養護施設「高鷲学園」から通学している児童が約1割在籍

創立当初より半数以上の児童生徒数減少